

平成25年度鳥取県・バーモント州青少年交流事業募集要領

1 事業目的

県内の青少年を本県の友好交流先である米国バーモント州に派遣し、青少年同士の交流を通して、互いの教育、文化、生活習慣等の違いを理解することで、国際的視野を持った青少年を育成する。併せて鳥取県とバーモント州の更なる交流の促進を図る。

2 事業概要

- (1) 実施主体 公益財団法人鳥取県国際交流財団（以下「財団」という）
- (2) 派遣期間 平成25年10月下旬～11月上旬の間の12日間程度（予定）
- (3) 派遣人数 高校生及び高等専門学校生15名
（※随行は、県内高等学校（県教育委員会を含む）英語教諭、財団職員、通訳者を予定）
- (4) 派遣先での活動
 - ① バーモント州の概要を知る
州政府訪問、特徴的企業等の見学
 - ② 文化体験
地域の文化遺産や博物館等を視察し、米国の文化や歴史に関する見聞を広める。
 - ③ 学校交流
地元高校の授業に参加し、地元高校生との交流を深めるとともに、地元大学を訪問し、米国における大学教育に触れる。
 - ④ ホームステイ
交流相手校の生徒の家庭にホームステイし、米国の家庭生活を体験する。
 - ⑤ 受入れ団体
バーモント州の民間団体 **Green Across the Pacific**
（世界の国々との交流を通じて、文化的理解と環境に対する認識を深めることを目的としている民間環境交流団体）

3 参加経費

渡航に係る往復航空券、米国内での移動に係る交通費及び宿泊費は財団が負担する。以下の経費は参加者負担とする。

- (1) 事前研修及び派遣前・帰国報告の参加に係る往復交通費
- (2) 旅券取得費用
- (3) 海外旅行傷害保険加入費用
- (4) 現地での医療費
- (5) 土産等の私的な費用
- (6) その他、移動中の食費等財団が負担しない費用

4 応募資格

- (1) 県内の高等学校及び米子工業高等専門学校に在籍する第1学年又は第2学年の生徒であること。
- (2) 事業の趣旨・目的を十分に理解し、派遣後はその経験を学校活動や国際交流活動に活かす意欲を有していること。ただし、過去の派遣者は、再応募することはできない。
- (3) 健康状態が良好で、派遣計画に従って規律ある行動及び団体生活ができること。
※米国では、ほとんどの家庭が室内でペットを飼っているため、動物アレルギーのある人は現地でのホームステイに際し、このことを考慮した上で申し込むこと。
また、ホームステイ先ではルームシェアになる可能性もあることを考慮した上で申し込むこと。

- (4) 財団が主催する事前研修に参加できること。
- (5) 事前研修以外でも、現地情報の収集や語学能力の向上に励む等、現地での滞在が充実したものとなるよう、自ら準備に努めることができること。
- (6) 簡単な日常英会話による生活に意欲的に取り組めること。
- (7) 保護者及び学校長から海外派遣の同意が得られること。
- (8) 交流活動中の写真は、現地受入先及び鳥取県内の関係機関（財団、鳥取県、鳥取県教育委員会）の広報資料に掲載される場合があることを了承していること。

5 提出書類

- (1) 平成25年度鳥取県・バーモント州青少年交流事業推薦書（様式1）
- (2) 平成25年度鳥取県・バーモント州青少年交流事業参加申込書（様式2）

6 各学校による応募者の推薦

各学校からの推薦者は2名までとする。

推薦者の合計が募集人数に満たない場合は、再度追加募集する。

7 選考方法

応募者全員に面接（英語によるコミュニケーション能力を確認するためのオーラルテストを含む）を実施し選考する。

※面接は、7月6日（土）または7日7日（日）に県東部で実施予定。

なお、面接に参加するための交通費は支給しない。

※選考結果は、7月中旬に各学校に通知する予定。

※推薦書及び参加申込書は、返却しない。

8 日程

事前研修等日程の詳細については追って連絡する。

(1) 事前研修

内容：現地での研修内容や取り組み方、視察先の情報、基本英会話等

回数：3回程度

日程：第1回は7月28日（日）午後実施予定。

会場：第1回はとりぎん文化会館第2会議室（鳥取市尚徳町101-5）

※第2回以降については、実施に必要な情報が整い次第決定し、通知する。

※派遣前に各自が現地生徒とインターネットによるメール交換、ブログ閲覧及び投稿などにより、情報交換を行う。

(2) 保護者説明会

内容：事業概要の説明等 ※土日または祝祭日

日程：未定

(3) 知事・教育長への帰国報告会

日程：未定 ※平日

会場：鳥取県庁

9 その他

- (1) 平成26年4月には、この10月の交流事業に携わったバーモント州の高校生を本県で受け入れる予定。バーモント州へ派遣した生徒には、受入期間中における、ホームステイや文化活動、交流活動等に積極的に協力、参加することが期待される。

- (2) 派遣生徒には、翌年度以降の県教育委員会が実施する留学説明会等に参加し、今後、海外留学等を希望する高校生に対し、派遣成果を還元する機会を設けることがある。